

## Contents

### 第46回日本血管外科学会学術総会

2次会告	1
特別寄稿	2
巨星が織りなす光輝の人生模様 田邊達三	
追悼	3
寄稿	4
女性血管外科医としてキャリアアップするためには？ 近藤ゆか	
2016年優秀論文	5
SVS・VAM報告	6
お知らせ・関連学会学術総会情報	7
日本血管外科学会雑誌 オンライン版目次 Vol. 26 No. 3~4	8

## 第46回日本血管外科学会学術総会会告（第2次）

第46回日本血管外科学会学術総会を下記のとおり開催いたします。  
会員の皆様には多数のご応募、ご参加を御願ひ申し上げます。

第46回日本血管外科学会学術総会 会長 貞弘 光章

記

会期：2018年5月9日(水)～11日(金)

会場：山形テルサ・山形国際ホテル

【山形テルサ】

〒990-0828 山形県山形市双葉町1-2-3 TEL：023-646-6677

<http://www.yamagataterrsa.or.jp>

【山形国際ホテル】

〒990-0039 山形県山形市香澄町3-4-5 TEL：023-633-1313

<http://www.kokusaihotel.com>

会長：貞弘 光章（山形大学医学部外科学第二講座）

テーマ：Evidence-based Vascular Surgery

（山形の地で熱く語ろう血管外科の検証と新時代を）

### プログラム内容（予定）：

理事長講演，会長講演，血管外科教育セミナー，医療安全講習会，指導医講習会，国際シンポジウム（SVS Japan Chapter），CIMIT 合同セッション，教育講演，シンポジウム「～の治療戦略とエビデンス」，パネルディスカッション，ビデオシンポジウム，ビデオセッション，会長要望演題，一般演題（講演，ポスター）

・特別企画「脳保護法を極める」「内腸骨動脈瘤を極める」「type 2 Endoleak を極める」「My Best Case」「私がこのデバイスを使う理由」「長期開存をめざしたバスキュラーアクセス作成」，血管外科チーム医療，血管外科女性医師の会，PMDA 合同セッション，血管看護，CVT セミナー，など調整中。（シンポジウムなど上級演題の詳細は9月までに総会ホームページでご案内します。）

総会ホームページ：<http://www2.convention.co.jp/> 46 jsvs/

●演題募集期間：2017年10月3日(火)～11月7日(火)

※演題登録はすべてオンライン登録となります。

### ■事務局

第46回日本血管外科学会総会 事務局

山形大学医学部外科学第二講座

〒990-9585 山形県山形市飯田西2-2-2

TEL：023-628-5342 FAX：023-628-5345

E-mail：46 jsvs@convention.co.jp

事務局長：内田徹郎

（山形大学医学部外科学第二講座）

総会ホームページ URL：

<http://www2.convention.co.jp/> 46 jsvs/

### ■運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社

東北支社

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町

4-34 丸金ビル6階

TEL：022-722-1311

FAX：022-722-1178

E-mail：46 jsvs@convention.co.jp

編集 日本血管外科学会 広報委員会

発行 特定非営利活動法人 日本血管外科学会

〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1

小田急第一生命ビル4F

公益財団法人 日本心臓財団内

TEL：03-5989-0991

E-mail：jsvs@jhf.or.jp

<http://www.jsvs.org/ja/>

制作 株式会社国際文献社

# 巨星が織りなす光輝の人生模様

北海道大学名誉教授 田邊達三

巨星が歩んだ生涯は機微に富み、偉大な功績と共に逸話も示唆に富んでいる。心臓血管外科の診療において、特に人工血管の開発、大動脈瘤手術、人工心臓、心臓移植などの課題で学んだ巨星 DeBakey と Cooley の光輝ある生涯をここでまとめた。

### インパクトとなった訪問と研修

DeBakey 教授は米国血管外科のパイオニア Matas が創設した Tulane 大学を卒業し、Strasburg 大学の Leriche、Heidelberg 大学の Kirschner に学び、さらに Ochsner の下で肺癌の診療に従事し、いち早く roller pump を開発していた。1948年40歳の若さで Baylor 大学の教授になったが、それから60年にわたってドイツ医学の影響もあって厳しい完全主義の生涯を貫き、心臓血管外科の発展に尽くした。一方、Cooley 教授は Johns Hopkins 大学を卒業し、心臓外科の創始者 Blalock、ロンドンの Brock に学んだ。インターン時代に Blalock-Taussig 手術を経験し、教授の不在中に弓部大動脈瘤の矢状切除に成功するなどの逸材であった。テキサス生まれの自由闊達な人柄で、1951年に DeBakey に招かれて Baylor 大学で二人三脚の活動を始めたが、同じく60年に及ぶ活動で心臓血管外科をリードする画期的功績を挙げた。



### 百聞一見に如かず

私が心臓血管外科の研究を始めた1955年頃から、DeBakey らの人工血管による大動脈から末梢血管に至る再建手術の報告、Cooley らによる驚異的な大動脈瘤手術の報告は極めて魅力的なインパクトであった。1964年にようやく念願が叶って Houston の Methodist 病院で二人の手術を見学したが、DeBakey の手術は威厳に満ちて正確、着実に静かに進められ、隣の Cooley の手術は陽気な雰囲気の中で迅速で鮮やか手裁きであり、熱心な見学者で一杯であった。文献や学会で見聞し、感銘を受けていた巨星の手術を眼の前にでき、改めて「百聞一見如かず」の格言を思い出した。

### 両雄並び立たず

性格の違った両雄の間に亀裂を生んだのは人工心臓の応用を巡る問題であった。人工心臓の開発研究は月へのアポロ計画と並んで国家的プロジェクトとして注目された。この研究を主導する DeBakey に対して Cooley は人工心臓の開発はフィクションに過ぎないと新聞紙上で反論して対立は決定的となった。ところが1969年に Cooley は巨大左室瘤の切除手術で人工心肺からの離脱が困難となり、やむなく Liotta の人工心臓を応用し、心臓移植のドナーの到着を待って心臓移植を行った。患者は死亡し、DeBakey は自分の人工心臓の無断使用、家族は患者の手術死亡に対して訴訟を起こし、米国外科学会は譴責処分とした。こうして二人は40年間も決別状態を続けた。

### 巨星墜つ

二人は健在で共に90歳まで手術を続け、DeBakey は6万例を超える患者の救命に当たり、Cooley 一門も10万例の手術を祝ったが、門下生は長い間二人の和解を望んでいた。2007年 Cooley は自身の学会で DeBakey に栄誉賞を授与し、2008年には DeBakey は大統領から国民栄誉賞を受けたが、その席に Cooley を招いて二人は感動の握手を行った。20世紀の外科を代表した巨星も年齢を重ね、97歳で解離性大動脈瘤の手術を受けた DeBakey は99歳で車椅子のまま、また年老いた Cooley は家族に囲まれ96歳で死亡し、二人の巨星は長寿を全うして光輝ある人生を終えた。

## 追 悼

日本静脈学会名誉会長 星野俊一

日本静脈学会名誉会長坂口周吉先生は平成29年6月25日逝去されました。坂口先生は本邦における静脈学の育ての親ともいべき先達であった。

1952年慶応義塾大学卒業後、外科に進まれ血管外科を専攻された。当時はバージャー病、レイノー病などの動脈疾患が多く、それらに混じって静脈瘤などの手術も行っておられた。外科医として10年目の1963年、西ドイツに2年間留学されたのが生涯血管疾患に取り組む基礎となったように思われる。

留学より帰国後、当時は本邦において未開発状態であった下肢静脈疾患の病態生理、静脈機能検査に研究の目を向けられ、臨床静脈学（1993年）を発刊された。

国際学会には積極的に参加され、1969年世界脈管学会において研究成果を発表注目され、1979年 Buenos Aires で開催された第6回 UIP(Union Internationale de Phlébologie) において、日本の代表者に選出された。

一方日本国内においては、1981年会頭として第1回静脈疾患研究会を古川欽一、田邊達三、三島好雄、勝村達喜先生など大御所と協力して立ち上げ、これが日本静脈学会の幕開けとなった。1990年には機関誌静脈学第1巻第1号が発刊され、更に静脈瘤に対する治療の変遷はめざましく、ストリッピング手術から硬化療法、レーザーおよびラジオ波焼灼術への急速な進展があり、日本静脈学会は次第に隆盛となり、2017年37回静脈学会を迎えるに至っている。

1986年 UIP World Congress を京都国立会館で主催された(写真)。その流れの中で2007年には UIP Asian Chapter Meeting を京都で小生が会長となり開催させて戴き、UIP honorary member にも推薦された。

UIP は3年毎に開催されるが1995年ロンドンでの UIP 総会時に当時の会長 André Davy に突如として、坂口先生は自分の後任として小生を推挙された。Davy 会長からは小生の発表した静脈弁形成術の演題をフランスの静脈誌 Phlébologie への投稿を促されたが、フランス語は出来ないのではと断ると、会長自ら翻訳してくれ Phlébologie に掲載され、小生唯一のフランス語の論文となった。坂口先生の静脈学の国際的人脈の広さと深さを知らされたエピソードであった。

坂口先生はゴルフをこよなく愛された。1995年ロンドンでの UIP 終了後セントアンドリュウスに行こうとお誘いを受けた。エジンバラからセントアンドリュウスまでレンタカーでドライブした。オールドコースのスタートは first-come base なので早朝薄暗いうちから並んでスタートの順番を待った。偶然にも日本女子プロの選手2人と一緒に1番スタートとなった。坂口先生は絶好調で、女子プロ達と渡り合ったが、小生は特有なラフに打込みロストボールを多発し、ボールを借りてプレーする有様であった(写真)。プレー終了後、4人で近くの魚料理屋で飲み、食事したが、坂口先生は始終最高のご機嫌だったことを覚えている。

また福島医科大学心臓血管外科恒例の年2回ゴルフコンペにはゲストとして毎年のように参加された。東京のご自宅からコースまで、愛車ポルシェを駆って猛スピードで颯爽とお見えになり、プレーなされた。優勝3回、1999年那須ゴルフクラブでは、ハーフ39の記録が残っている。

静脈学に起草なされた「わが半世の静脈学」に、人生とは「自らの能力がどこまであるかを探す場」であると記されている。心すべき教訓である。

哀心よりご冥福をお祈り致します。



1986年 UIP World Congress 京都



ST. ANDREWS, OLD COURSE 18 HOLE 嘆きの橋 1995.9.1

# 女性血管外科医としてキャリアアップするためには？

医療法人偕行会名古屋共立病院血管外科 近藤ゆか

近年、女性外科医師は増加しているものの、専門医・指導医を持つ女性医師数はそれほど増加してはいない。我々血管外科医が必要な専門医資格は外科専門医、心臓血管外科専門医または脈管専門医であるが、2012年の時点でそれぞれ655名(3.1%)、26名(1.6%)、26名(3.8%)と非常に少なく、学会の評議員や理事になるとさらに少ない。これは女性医師の数が少ないことに加えて、専門医取得までキャリアを継続することが難しいことが原因と考えられる。幸いにも私は両者、各種指導医も取得し、血管外科学会では評議員にも推薦いただいたが、ほぼ男性医師と同様のキャリア形成が可能であったからである。



私は当初、消化器外科で研修を開始し、後期研修医として胸部外科に入局した。当時女性医師が1名在籍していたが、すでに非常勤外来のみの勤務となっており医局にも専門医を取得するまでの明確なキャリアパスは存在せず、男性医師と同様の研修を行ってきた。ただ、女性としての気負いもあり、今思い返すと杞憂であったのであるが、男性医師以上の働きをしないと認められないと考えプライベートよりも仕事を優先としてきた。様々な手術も経験させていただき、心臓血管外科専門医を取得する頃には血管外科医を専門として主治医、執刀医を任せていただけるようになった。海外留学・基礎研究や他施設での新たな手技や資格の取得もできた。このような男性医師と同様のトレーニング・経験を受けることができたのは、幸か不幸か私に配偶者・扶養家族もなく、介護問題もなかったためである。また心臓血管外科専門医志望の女性医師に初めて接して、どう扱ったらいいかわからないと困惑しながらも、男性と分け隔てなく接していただいた上司、同僚、後輩、コメディカルなど職場環境にも恵まれたからである。

最近では、専門医取得の際にも産休や介護等での猶予期間が設けられ配慮されるようになってはきているが、現況では、女性血管外科医がキャリアアップするためには男性と同様に勤務できる状況でないのが現実である。また私のようなモデルは極論で、多くの女性医師の目指すキャリアモデルではない可能性も高い。未だ女性が妊娠・出産・育児・介護を主に担うことが多い日本においては様々なモデルが必要となる。時短勤務や当直・オンコール免除など女性医師を支えるための様々な方策が挙げられているが、実現するためには、マンパワーも必要で、バックアップする男性医師のみでなく子供のいない女性医師の負担増加も避けられない。支援を受ける女性医師も職場、家族を含めて周囲の協力が必要と考えてはいるが、他者への負担増加がネックとなり実際には支援を受けずに、自身のキャリアを諦める医師も多い。女性が育児・介護などをすべきという固定観念がなくならない限り解決できない問題と考える。また逆に、外科医としての仕事を縮小するのみでなく、育児であれば24時間保育や病児保育、介護であればショートステイや在宅看護支援などの社会的なバックアップを充実させることにより、フルタイム勤務や手術・当直をこなすことも考えるべきである。これらは男性医師が育児・介護が必要になった場合にも有用である。また指導医となった際も既存のキャリアパスに捉われず、その都度最適な研修方法を提案することも必要である。

ただ、時には自身及び周囲の環境変化に合わせて、柔軟に目標を変更することも必要である。誰も全てのものを手に入れることはできないが、全てを諦めることもない。私自身もそうであったが、心臓血管外科医としてのキャリア継続は難しくとも、血管外科医としては女性医師でも充分キャリアを継続することが可能であろう。血管外科として扱う多くの疾患は、心臓外科手術と比較しても、手術時間が比較的短く、術後管理に拘束される時間も少ない、また静脈・リンパ疾患など女性医師としての特権が活かせる疾患や、診断から治療まで一貫して扱う疾患も多く、血管外科ほど魅力的な外科はない。多くの女性医師が血管外科医を目指しキャリアを継続できるように、微力ながら道を開拓できれば幸いである。

## 2016年優秀論文

日本血管外科学会編集委員会  
委員長 佐藤 紀

『日本血管外科学会雑誌』2016年の掲載原著論文のなかから下記の論文が2016年優秀論文に選出、認定されました。

### 記

- 1) 内腸骨動脈閉塞併用による 腹部ステントグラフト内挿術適応拡大の安全性に関する検討  
藤岡俊一郎（国立国際医療研究センター心臓血管外科）ほか  
25巻 pp.240-245

選出理由：当論文は腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術において、内腸骨動脈血流を遮断した場合の腎筋跛行について検討したものである。一般に腎筋跛行出現を回避するには両側内腸骨動脈閉塞を避けること、上腎一下腎動脈の交通を温存することが重要といわれてきたが、実際の症例でこれらを証明したところに当論文の価値がある。ステントグラフト治療をより安全、確実に適応拡大するための重要な基礎データを提示したといえる。

- 2) 腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後早期 Type II endoleak の 原因血管の検討と原因血管に対する術中コイル塞栓の試み  
青木 淳（昭和大学心臓血管外科）ほか  
25巻 pp.321-328

選出理由：EVAR 術後に Type II endoleak を起こしやすい IMA と腰動脈のパターンを、術前の画像所見から予想することを可能とし、それらに対して EVAR 術中にコイル塞栓を行った症例の成績を示した論文である。結果として Type II endoleak が有意に減少したと報告され、今後の EVAR 術後成績改善に貢献できる有用な研究である。

- 3) 慢性 B 型大動脈解離に対する TEVAR の治療成績  
溝口高弘（山口県立総合医療センター外科）ほか  
25巻 pp.233-239

選出理由：この論文は、慢性 B 型大動脈解離に対する早期の TEVAR が、大動脈のリモデリングを促進することを明らかにし、遠隔成績向上に繋がる可能性を示した。合併症のない B 型大動脈解離は保存治療が第一選択だが、遠隔期に 40% は外科手術の必要が生じるとのデータもあるため、どの症例に TEVAR を実施するのが良いのか改めて検討する必要がある。本論文はそういった検討に有用な情報を提示している。

## 米国血管外科学会総会 Vascular Annual Meeting 2017 参加報告 Report from 2017 Vascular Annual Meeting in San Diego

兵庫医科大学心臓血管外科  
日本血管外科学会評議員・国際委員  
米国血管外科学会員・2017-2018年度米国血管外科学会国際関連委員 山村光弘

### 1) 米国血管外科学会 Society for Vascular Surgery の歴史

日本血管外科学会は Japanese Society for Vascular Surgery ですが、米国血管外科学会は Society for Vascular Surgery (以下 SVS) と表記されます。1947年設立当時は米国にしか血管外科学会はなかったため "American" Society for Vascular Surgery と命名する必要がなかったのです。カナダ血管外科学会 Canadian Society for Vascular Surgery は SVS 構成地方会なので、正確には SVS はカナダ・アメリカ合衆国血管外科学会としたほうがいいかもしれません。各 SVS 構成地方会は地方会長 President が SVS 理事 Director を兼ねて、各 SVS 構成地方会発表は SVS 機関紙 Journal of Vascular Surgery に抄録集が掲載されます。

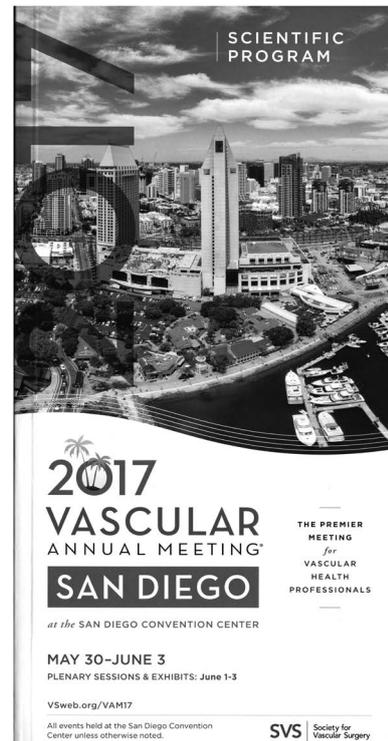
SVS 日本人会員はずっと7名でしたが、やっと2014年米国血管外科学会日本支部 Japan Chapter of SVS になったのは承知のとおりです。国際支部会は理事選出できませんが、米国血管外科学会国際関連委員会 SVS Member of International Relations Committee にオブザーバー参加できます。今年も名古屋大学古森教授が米国血管外科学会日本支部 Japan Chapter of SVS 代表として出席されました。山村も米国血管外科学会国際関連委員 SVS Member of International Relations Committee として同席させて頂きました。

### 2) 今年の米国血管外科学会総会 Vascular Annual Meeting は？

米国血管外科学会総会は2004年以降 Vascular Annual Meeting と表記され、今年は米国 San Diego Convention Center で5月31日から6月3日の4日開催されました(プログラム表紙を右上に示す)。事前参加費は SVS 会員683ドル・非会員会費887ドルと高額でしたが、16名の日本人事前参加者がありました。演題採用率はこれまで30%ぐらいとかなり厳しかったのですが、米国外からの演題申込も増加しているので2015年から学会1日目午後に International Fast Talk・International Forum が追加され、さらに今年度から学会1日目午前に日本支部・中国本土支部・ドイツ支部・ブラジル支部・メキシコ支部から発表できる International Chapter Forum も追加され、採用演題391題(採用率53%)でした。

日本からの発表は、International Fast Talk では旭川医大 Kikuchi 先生・Miyake 先生と赤穂中央病院北川先生の3題と、International Forum では徳島大 Kawatani 先生と函館市民病院森下先生の2題でした。第2日目の Plenary 口演では小倉記念病院 Ozaki 先生が発表され、Poster Competition では慶応大飯田先生・山形大学黒田先生の2題で全部あわせると8題でした。応募一覧表は <http://www.jsvs.org/ja/event/svsvascularannualmeeting/> に掲載しましたので、来年以降投稿にご参考ください。

上記内容は、本学会広報委員会(國吉委員長・貞弘副委員長)および国際委員会(荻野委員長)のご好意にて、本学会ホームページ参加報告書を要約しました。



## お知らせ

### ●2017年心臓血管外科専門医認定試験のご案内

日 時：2017年11月17日（金曜日）  
集合時間 12:30、試験時間 13:00～16:00（3時間）  
会 場：JP タワーホール  
東京都千代田区丸の内2丁目7-2 JP タワー・KITTE 4階  
TEL: 03-5222-1800  
<http://www.jptower-hall.jp/access/index.html>

アクセス：JR 東京駅／徒歩約1分、丸の内線東京駅／地下道より直結、千代田線二重橋前駅／徒歩約2分、三田線大手町駅／徒歩約4分、JR 京葉線東京駅／徒歩約3分、有楽町線有楽町駅／徒歩約6分、JR 有楽町線／徒歩約6分

試験形式：筆記試験 Multiple choice

持参物：受験票、HB 黒鉛筆、プラスチック製消しゴム、下敷き（A4）、時計（携帯電話不可）

### ●第3回日本血管外科学会血管内治療ワークショップのお知らせ

第3回血管内治療ワークショップを下記のとおり開催いたします。会員の皆様には、多数のご応募をお願い申し上げます。

日 時：2017年11月18日（土）19日（日）（1泊2日）  
会 場：東京サイエンスセンター  
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目25-19  
TEL: 044-288-7050

募集人数：20名  
参加費：50,000円（テキスト代込み、宿泊費別）  
募集期間：2017年7月21日（金）～9月19日（火）  
対 象：下肢末梢血管に対するアドバンスレベルの血管内治療を始めようとする血管外科医で腸骨動脈病変に対する血管内治療の経験を有することが望ましい  
プログラム：座学ならびに動物（ブタ）を用いた血管造影を伴う wet labo をプログラムに盛り込んでおり、より実践的なプログラムを予定しております。  
詳細は日本血管外科学会ホームページ（<http://www.jsvs.org/ja/>）にて、ご案内いたします。

#### 《到達目標》

- ・下肢末梢動脈病変の血管内治療の適応と禁忌を理解する
- ・下肢末梢動脈の穿刺法・アプローチ法を理解する
- ・血管内治療に必要なガイドワイヤーとデバイスの選択について理解する
- ・下肢末梢動脈閉塞病変に対する血管内治療の技術を理解する
- ・合併症発生時の対応を習得する

主 催：日本血管外科学会

実務担当：日本血管外科学会学術委員会

#### 《講師》

ワーキンググループ委員長

福田幾夫 弘前大学胸部心臓血管外科

ワーキンググループ事務局

工藤敏文 東京医科歯科大学血管外科

#### ワーキンググループ

村上厚文 国際医療福祉大学病院循環器センター血管外科  
尾原秀明 慶應義塾大学外科  
笠島史成 金沢医療センター心臓血管外科  
金子健二郎 慈恵会医科大学／新百合ヶ丘総合病院血管外科

墨 誠 埼玉循環器・呼吸器病センター血管外科  
谷口 哲 弘前中央病院 胸部心臓血管外科  
服部 努 日本大学／相模原協同病院血管外科  
松原健太郎 慶應義塾大学外科  
山岡輝年 松山赤十字病院血管外科  
横井宏佳 福岡山王病院

#### 《特別講師》

安藤 弘 春日部中央総合病院循環器内科  
鈴木健之 東京都済生会中央病院循環器内科  
豊福崇浩 東京医科歯科大学血管外科

## 関連学会学術総会情報

※詳細については各学会にご確認ください。

### ■第58回日本脈管学会総会

会期：2017年10月19日（木）～21日（土）  
会場：名古屋国際会議場  
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1-1  
会長：古森公浩（名古屋大学大学院 医学系研究科血管外科学分野）  
URL： <http://www.congre.co.jp/58jca/index.html>

### ■第38回日本静脈学会総会

会期：2018年6月14日（木）～15日（金）  
会場：メルキュールホテル横須賀・横須賀芸術劇場ベイサイドポケット  
〒238-0041 神奈川県横須賀市本町3-27  
会長：孟 真（横浜南共済病院心臓血管外科／横浜市立大学外科治療学）

### ■第48回日本心臓血管外科学会総会

会期：2018年2月19日（月）～2月21日（水）  
会場：三重県総合文化センター  
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234  
会長：新保秀人（三重大学大学院医学系研究科胸部心臓血管外科学）

### ■第70回日本胸部外科学会定期学術集会

会期：2017年9月26日（火）～9月29日（金）  
会場：さっぽろ芸術文化の館  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西12丁目ロイトン札幌  
〒060-0001 札幌市中央区北1条西11丁目  
会長：松居喜郎（北海道大学大学院医学研究科 循環器・呼吸器外科学）

### ■第118回日本外科学会定期学術集会

会期：2018年4月5日（木）～7日（土）  
会場：東京国際フォーラム  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1

JP タワーホール&カンファレンス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目7-2 KITTE  
4,5階

会長：國土典宏（東京大学名誉教授／国立国際医療研究センター理事長）

■ 2017年 ASVS (Asian Society for Vascular Surgery)

会期：Oct 25–Oct 28, 2017

会長：Liew Ngoh Chin

会場：Shangri-La Hotel Kuala Lumpur

総会：http://www.asvs2017.com/

■ 2018年 VAM, Vascular Annual Meeting (Society for Vascular Surgery)

会期：June 21–June 23, 2018

会場：Hynes Convention Center, Boston, MA

## 日本血管外科学会雑誌 Vol. 26 (2017) Contents

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsvs/-char/ja/>

### No. 3

#### 症 例

- ・腹部大動脈瘤と腸間膜癒着によって発症した上腸間膜動脈症候群  
小渡亮介ほか（弘前大学医学部胸部心臓血管外科）  
pp. 161–164
- ・下行大動脈置換後のオピオイドに誘発された可能性のある遅発性対麻痺の一治験例  
山本直樹ほか（高知県・高知市病院企業団立高知医療センター心臓血管外科）  
pp. 165–169
- ・重症大動脈弁狭窄症を合併した胸腹部大動脈瘤切迫破裂に対して腋窩動脈送血による部分体外循環で人工血管置換術を施行した1例  
仲澤順二ほか（札幌医科大学心臓血管外科）  
pp. 171–174
- ・不適切な血管内治療で生じた重症虚血肢をバイパス術で救肢した1例  
磯田竜太郎ほか（川崎医科大学附属川崎病院総合外科）  
pp. 175–178
- ・気管切開後に発症した気管腕頭動脈瘤の1救命例  
秋月 光ほか（国立病院機構浜田医療センター心臓血管外科）  
pp. 179–183
- ・横行結腸切除術後の腹部大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術を行い、術後腸管虚血をきたした1例  
井上秀範ほか（東京医科大学八王子医療センター心臓血管外科）  
pp. 185–188
- ・外傷性咽頭後間隙血腫診断後に発症した Stanford B 型急性大動脈解離の1治験例  
神藤由美ほか（沼津市立病院心臓血管外科）  
pp. 189–194

### No. 4

#### 症 例

- ・下腿動脈瘤に対しコイル塞栓術を施行した Ehlers-Danlos 症候群を疑う1例

佐々木 理ほか（一般財団法人太田総合病院付属太田西ノ内病院心臓血管外科）  
pp. 195–197

- ・半腹臥位にて修復した大腿骨遠位端骨軟骨腫による膝窩動脈仮性瘤

毛利 亮ほか（姫路赤十字病院心臓血管外科）  
pp. 199–201

- ・左内胸動脈を使用した冠動脈バイパス術後の左鎖骨下動脈瘤に対し、ステントグラフト内挿術を施行した一例  
松村 祐ほか（長野中央病院心臓血管外科）  
pp. 203–207

- ・小児上腕動脈瘤に対する瘤切除の1例  
鈴木脩平ほか（新潟県立中央病院心臓血管外科）  
pp. 209–212

- ・重複下大静脈を伴った腹部大動脈瘤破裂の1例  
赤岩圭一ほか（市立大村市民病院心臓血管外科）  
pp. 213–216

- ・外腸骨静脈の高度圧排による下肢腫脹を来した股関節ガングリオンの一手術例

福本行臣ほか（社会医療法人厚生会木沢記念病院心臓血管外科）  
pp. 217–220

- ・大腿神経麻痺による歩行障害を契機に診断された孤立性大腿深動脈瘤の1例

田内祐也ほか（ツカザキ病院心臓血管外科）  
pp. 221–224

- ・静脈瘤の治療（レーザー治療、SEPS、フォーム硬化療法）について

春田直樹（仁鷹会たかの橋中央病院血管外科）  
pp. 225–230

- ・外傷性膝窩動脈断裂の修復後に生じた吻合部仮性動脈瘤の1手術例

出津明仁ほか（桐生厚生総合病院血管外科）  
pp. 231–234

Graduated Compression Stockings from ETI **R&Fit**™

立ち仕事の方に最適。  
 下肢静脈の環流促進に最適。



世界シェアNo.1実績  
 医療用弾性ストッキング

# レックス ファイト



ハイソックス



ストッキング



パンティストッキング



男性向きハイソックス



男性用レオタード

圧力タイプ

着用しやすい  
弱圧タイプ

しっかり圧迫  
中圧タイプ

生地タイプ

肌が透けて見える  
薄手

肌が透けて見えにくい  
厚手

カラータイプ

ライトベージュ

ミディアムベージュ

ブラック

爪先タイプ

爪先を締め付けない  
無圧帯加工

通気性の良い  
爪先なし

爪先あり

爪先なし

医療用弾性ストッキング専門メーカー

Best Customer Service  
**LimFix**

株式会社 リムフィックス

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目3番12号 ケイズビルディング4F  
 TEL:03-3818-8493 FAX:03-3818-8495 URL:<http://www.limfix.com/>  
 一般医療機器／製造販売許可番号 13B3X90009000001

# The **NEW** 1.5mm HYDRO LeMaitre® Valvulotome

## Smooth Sailing in Small Vessels



販売名：レメイト ハイドロコーティング静脈弁カッター  
製造販売届出番号：13B1X00239000003

### レメイト ハイドロコーティング静脈弁カッター

この次世代デバイスは下記の新機能を備えております

- 親水性コーティング
- 1.5mmブレードハウジング外径
- 1.5-6.0mmの幅広いブレードレンジ
- グリーンの安全マーカ
- 深度マーカ
- 再設計された人間工学的ハンドル

製造販売業者

レメイト・バスキュラー合同会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-9-4

TEL. 03-5215-5681 FAX.03-5215-5682

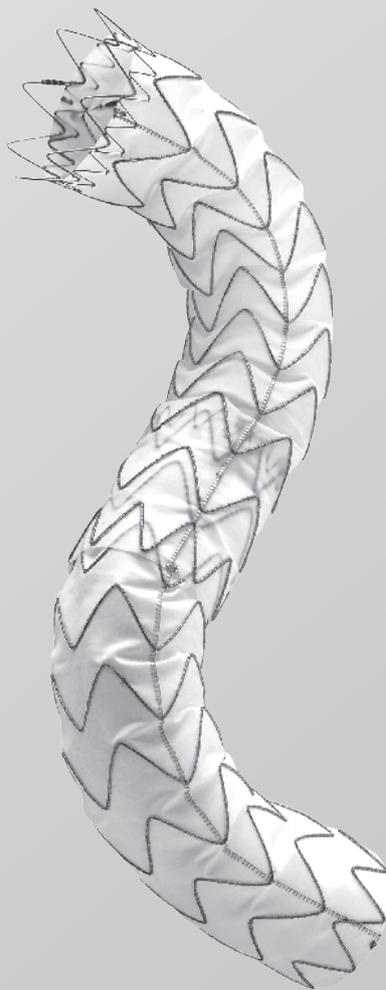
[www.lemaitre.com](http://www.lemaitre.com)

 **LeMaitre®**  
VASCULAR

Your Peripheral Vision™

# EXTEND GRAFT EDGE

## Valiant Captivia



販売名: VALIANT胸部ステントグラフトシステム  
医療機器承認番号: 22400BZX00124000

### 日本メドトロニック株式会社

ストラクチャルハート&エンドバスキュラー事業部  
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70  
Tel:03-6776-0015

[medtronic.co.jp](http://medtronic.co.jp)

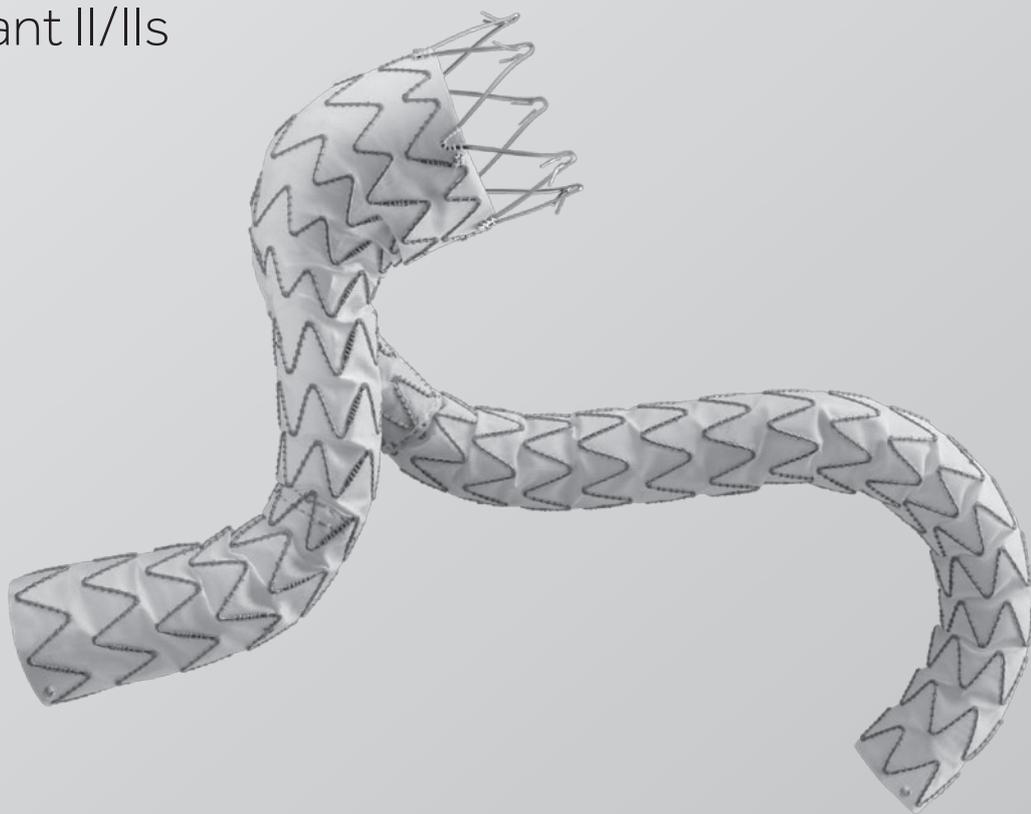
使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の添付文書をご参照ください。

©2017 Medtronic Japan Co., Ltd.

**Medtronic**  
Further, Together

# SUPRA-RENAL STENT MAKES OUTCOMES.

Endurant II/IIs



販売名: ENDURANT IIステントグラフトシステム  
医療機器承認番号: 22400BZX00396000

## 日本メドトロニック株式会社

ストラクチャルハート&エンドバスキュラー事業部  
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70  
Tel: 03-6776-0015

[medtronic.co.jp](http://medtronic.co.jp)

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の添付文書をご参照ください。

**Medtronic**  
Further, Together